

(別紙4(2))

目標達成計画

事業所名:グループホーム 和樂

作成日:平成 22 年 2 月 16 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4(3)	地域の方との交流を深める為に少しずつ踏み出しているものの、訪れて来てくれる人は限られている。	気軽に訪ねていただけるホームとして、地域の方々、より多くの方に「和樂」を知ってもらえるように、入居者様の楽しみにも繋がるような交流を深めていきたい。	年間を通して一番訪問の多い夏の時期に合わせて何か催し物ができないか、家族の方々との話し合いを設けていきたい。	6ヶ月
2	36(14)	食べこぼしの多い方には、エプロン使用で、食べていただいているが、他者の方の目もあり、食器の改善やエプロンの種類、使い方についてスタッフ間で検討すべき課題である。	入居されている皆様との楽しい食事が出るよう努めたい。	その方に合った食事の提供、摂取するために必要なエプロン・食器を検討し合って、その人らしい食事の提供をしていきたい。	3ヶ月
3	35(13)	スタッフの火災訓練は行っているものの、近隣住民の方への声かけ(参加)は今まで一度もない。	火災・災害時の訓練を近隣住民の方と一緒に実践し回数を増やしていくことで、地域の協力体制につながっていく。	災害時は地域・近隣住民の方の協力が必要になってくるので、今後の訓練に向け、担当者話し合い計画して近隣住民の方の参加の声かけ等に努めていきたい。	一年間
4	6(5)	スタッフ全員が入居者の方が行きたいところ、希望されることを状況によっては、すぐに行動に移せない時がある。	本人様の希望に沿ったケアができるよう、一人ひとりの気持ちの変化を見極めることで、ケアの向上に繋げることができる。	その方の状況に応じて、声かけの仕方や対応をスタッフ間で学び、「その人さしら」を知るという観察力を身につけていく。	一年間
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。